

令和2年度（2020年度）第1回北海道青少年健全育成審議会（書面開催）議事録

(1) 資料1 令和元年度北海道青少年健全育成条例の取組について

	委員名	項目等	意見概要	対応方針
1	那須委員	図書類自動販売機設置届出台数について	3の図書類自動販売機等の設置届出に関して、令和元年度の届出台数は「32台」とあり、備考欄に実際に稼働しているものはないと記載があるが、実態調査を行って把握しているのか。	道内で現在稼働している図書類自動販売機はなく、いずれも各振興局職員等による実態調査を行い把握しております。
2	那須委員	立入調査数について	上記に関連し、4の立入調査数で調査台数が「39」とあるがこの数字との関連は。	立入調査は、年間を通じて行っていますので、各調査における延べ数を掲載しております。 このため、同じ対象を複数回立入調査している場合もあります。

(2) 資料1-2 令和元年度 有害興行指定一覧

	委員名	項目等	意見概要	対応方針
1	新田委員	有害興行指定、有害図書指定について	有害興行指定、有害図書指定について、大切なことだが、スマホやインターネットが普及している現状も踏まえると、有害興行や図書を指定していただくだけではきりがないうように感じる。そうした現状を踏まえた上で、青少年一人ひとりが考えたり、意見を発信することができるような教育的な取組の機会についても同時に充実させていくことが重要だと思う。	ご意見のとおり、現状を踏まえた上で、青少年が自ら考え、意見を述べられる教育的な取組を実践できるようそうした機会や環境の整備を推進していくことが重要だと考えております。 なお、これまでの北海道警察による取組例としまして、青少年がSNSに起因する犯罪被害に遭わないための啓発動画の製作や出演に、大学生に関わってもらうことにより、同年代の青少年が自らのこととして受け止め、考えてもらえるような啓発活動も行っており、今後とも教育庁や道警と連携を図りながら推進していきたいと考えております。

(3) 資料1-3 令和元年度 有害図書指定一覧

資料1-2の意見と同じ

(4) 資料2 令和元年中の少年非行等の状況について

	委員名	項目等	意見概要	対応方針
1	河合副会長	北海道の少年非行の現状について	<p>当該年と前年の比較だけではなく、北海道の少年非行の状況について数年間にわたる傾向や、全国との比較もできる資料があると、令和元年の数値で示されている状況の理解を深めることができ、必要な対策や減少に寄与している要因等について今後の議論がしやすくなるように思う。</p> <p>少子化の時代であり、当該年の「少年人口」の目安が欲しい。</p> <p>平成30年度第2回青少年健全育成審議会の配付資料6「北海道の少年非行の状況について」の後続版のようなものの作成を検討いただけると、ありがたい。</p>	<p>ご意見いただきましたので、数年の傾向が分かる資料を作成しましたので追加資料として送付させていただきます。</p>
2	河合副会長	薬物乱用少年の現状について	<p>「2 薬物乱用少年の状況」について「一昨年（H30年）から薬物乱用事案の増加傾向が続いており、特に大麻取締法による検挙が際立っている」との説明が付されている。平成30年は15件、令和元年は17件で、その差は2件。総数を比較したときには1件の減少。増加傾向にあるのか、横ばいなのかなど、傾向を捉えるには少なくとももう一年（令和2年）分のデータを得てからでなければ、はっきりしないように思った。</p> <p>令和2年の9月末までのデータがあり、そこから増加傾向を読みとられたのかもしれないが、提示いただいたデータだけでは「増加傾向が続いている」とは捉えがたいように思う。</p>	<p>前年対比だけでは分かり得ない部分もありますので、数年の傾向が分かる資料の作成に努めます。</p>